

# Tokyo Concerts, Inc.

2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo169-0051 TEL03-3200-9755/FAX03-3200-9882

<http://www.tokyo-concerts.co.jp>

株式会社東京コンサーツ 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

2016年10月17日

報道関係 文化担当 各位

プレスリリース

## 指揮者 伊藤翔がイタリアの国際指揮者コンクールで優勝



拝啓 秋涼のみぎり、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、東京コンサーツ所属の指揮者、伊藤翔（いとう・しょう）が2016年10月中旬にイタリアで開催された第1回「ニーノ・ロータ国際指揮コンクール」でニーノ・ロータ賞（優勝）およびオーケストラ賞を受賞いたしました。2016年10月17日に記念演奏会が行われるほか、イタリア国内で数回の受賞コンサートが予定されております。

伊藤翔の今後の活動に、ますますご注目くださいますようお願い申し上げます。

敬具

お問合せ：

伊藤翔 担当

株式会社東京コンサーツ 友水 一喜

E-mail: [tomomizu@tokyo-concerts.co.jp](mailto:tomomizu@tokyo-concerts.co.jp)

Tel: 03-3200-9755

Fax: 03-3200-9882

## 伊藤翔 (いとう・しょう Sho ITOH) 指揮者

1982年5月30日、東京都生まれ。桐朋学園高等学校音楽科及び桐朋学園大学音楽学部指揮科卒業。2005年から3年間ロームミュージックファンデーションの奨学金を得て、ウィーン国立音楽大学に留学。指揮を秋山和慶、小澤征爾、黒岩英臣、上杉隆治、高階正光、湯浅勇治、E.アチェル、M.ストリンガー、ピアノを斎木隆、藤井一興、作曲を三瀬和朗の各氏に師事。

2011年5月、ポーランドで行われた「第5回ヴィトルド・ルトスワフスキ国際指揮者コンクール」で第2位を受賞。桐朋学園大学在学中に大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。以後国内外の多くのオーケストラに客演。

これまでに大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団等に客演。海外では、クラクフ国立室内管弦楽団やジェシヨフ・フィルハーモニー管弦楽団での客演が好評を博した。

2008年7月から2009年3月まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員を務め、その後2009年4月から2012年3月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者を務めた。2012年4月より現在に至るまで、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス。現在、上野学園大学非常勤助教。

---

### コンクール詳細

◆名称：第1回ニーノ・ロータ国際指揮コンクール

Concorso Internazionale di Direzione d'Orchestra "Nino Rota"

◆主催：ICO (Istituzioni Concertistico Orchestrali /Orchestra Concert Institution)

ICOはイタリア芸術協会 (Associazione Generale Italiana dello Spettacolo ; AGIS)の支部であり、コンクールを演奏したオーケストラ「マグナ・グレシア」を編成。

◆審査会場：イタリア共和国バジリカータ州マテーラ Auditorium "R. Gervasio"

◆応募年齢条件：1970年1月1日以降生まれ。

◆コンクール次第 (下記、現地時間)：

- ・書類・ビデオ審査→68人が選抜 (うちイタリア26人、日本9人他)、応募者総数不明
- ・10月12日 1次予選

課題曲：ニーノ・ロータ／ノネット、ブリテン／シンフォニエッタ Op.1

→12人が選抜 (日本3人、イタリア3人他)

・10月13日 2次予選

課題曲：ドヴォルジャーク／弦楽セレナーデ、チャイコフスキー／弦楽セレナーデ  
→6人が選抜（日本3、イタリア1、台湾1、スペイン1）

・10月14日 セミファイナル

課題曲：交響曲（ベートーヴェン／交響曲第5番、ブラームス／交響曲第4番、リスト／前奏曲から1曲）、オペラアリア（プッチーニ、バーンスタイン、ニーノ・ロータから1曲）

→3人が選抜（日本1、イタリア1、スペイン1）

・10月15日 ファイナル

課題曲：セミファイナルと同じ曲目（3人それぞれ別の曲の組み合わせを抽選により決定）

→優勝（ニーノ・ロータ賞）：伊藤翔（2位・3位は選考せず）

併せてマグナ・グレシア賞を受賞

◆賞について：

- ・ニーノ・ロータ賞 “NINO ROTA” Award：賞金 2,000 ユーロ、および 2016–2018 年のシーズンにおいてイタリア ICO のオーケストラによる 3 回の国際公演を予定（日程未定）。
- ・ICO マグナ・グレシア賞(オーケストラ賞) ”Istituzione Concertistico Orchestrale della Magna Grecia” Award：賞金 500 ユーロ、および 2016–2017 のシーズンにおいて、マグナ・グレシア・オーケストラによる 1 回のコンサートを予定（日程未定）。
- ・特別賞(聴衆賞)：賞金 500 ユーロ。Simone Zuccatti(イタリア)が受賞。

◆コンクールの目的：

「才能豊かであるとともに十分に訓練され、明確な表現力を持つ若い指揮者を発掘し、彼らに最も重要なオーケストラの一つである ICO を指揮する機会を与える」

コンクール Facebook 記事より翻訳(2016/10/16 アクセス)

<http://www.facebook.com/ninorotacompetition/>

◆審査員：

- ・Deyan Pavlov (ブルガリア)／「プレヴァン国立交響楽団」首席指揮者・「ソフィア国立音楽院」指揮科教授
- ・Valentin Doni (ルーマニア)／「バカウ交響楽団」永年指揮者
- ・Eduard Topchjan (アルメニア)／「アルメニア交響楽団」芸術監督・首席指揮者
- ・Piero Romano (イタリア)／「マグナ・グレシア・オーケストラ」音楽監督・「ドゥーニー音楽院」学長
- ・Alberto Triola (イタリア)／「マジオ・ムジカーレ・フィレンツェ劇場」総監督・「五月音楽祭」芸術監督
- ・Marco Tutino (イタリア)／作曲家

以上